

39歳以下で乳房の検査を希望される方へ

30歳未満の方 「超音波のみ」をお勧めします

乳房超音波のみを推奨します（被ばく及び精度のため）

- * 自覚症状（しこり、乳汁の分泌など）がある場合は「乳腺外科外来」にご相談ください



30歳～39歳の方 「超音波+マンモグラフィー」をお勧めします

超音波とマンモグラフィーの併用を推奨します

どちらかにしたい場合は、**交互に検査**を受けられるとよいでしょう

- * マンモグラフィーの検査は（毎年ではなく）2年に1回までとしてください（ガイドラインより）

- * 自覚症状（しこり、乳汁の分泌など）がある場合は「乳腺外科外来」にご相談ください



血縁の方に乳がん、卵巣がんがいらっしゃる場合

以下の項目に当てはまる場合は、「**乳腺外科外来**」**受診**をお勧めいたします

簡単チェック表 (HBOC コンソーシアム)

母方、父方それぞれの家系について、以下の質問にお答えください。
あなた自身を含めたご家族の中に該当する方がいらっしゃる場合に、
□にチェックを入れてください。

- 40歳未満で乳がんを発症した方がいますか？
- 年齢を問わず卵巣がん（卵管がん・腹膜がん含む）の方がいらっしゃいますか？
- ご家族の中でお一人の方が時期を問わず
原発乳がんを2個以上発症したことがありますか？
- 男性の方で乳がんを発症された方がいらっしゃいますか？
- ご家族の中でご本人を含め乳がんを発症された方が3名以上いらっしゃいますか？
- トリプルネガティブの乳がんといわれた方がいらっしゃいますか？
- ご家族の中に BRCA の遺伝子変異が確認された方がいらっしゃいますか？

上記の質問に一つでも該当する項目があれば、遺伝性乳がん・卵巣がん
である可能性は一般よりも高いと考えられます。

HITO病院 乳癌学会専門医 小坂泰二郎監修